

第31回

## ロシア革命

監修・講師  
中嶋 毅

### 学習のねらい

第一次世界大戦の重圧によって混乱したロシアは、1917年に二度にわたって革命による体制転換を経験し、レーニンの指導下で世界史上初の社会主義政権が誕生した。新政権を担ったボリシェヴィキ（のちの共産党）は、反対勢力の抵抗や外国の干渉と戦いながらロシアを再統合して、ソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）を樹立した。社会主義体制をとったこの国家は、20世紀世界秩序の中で、資本主義世界への挑戦者として巨大な影響をおよぼした。世界戦争からソ連の形成に至る過程をたどりながら、ソ連の登場の歴史的な意味を考える。

- ・ <世界大戦とロシアの苦難>
  - ・ 協商国 総力戦 ニコライ二世
- ・ <二つの革命>
  - ・ 三月革命 十一月革命 ボリシェヴィキ
- ・ <社会主義国家の確立>
  - ・ 内戦 干渉戦争 共産党 ソ連

### ■ ■ ■ 世界大戦とロシアの苦難 ■ ■ ■

第一次世界大戦が始まると**協商国**の一員として参戦したロシアは、緒戦で大敗北を喫したものの、**総力戦**となった新たな戦争に適応するための体制作りを進めた。しかし戦争が長期化すると、戦争遂行の負担がロシア経済を大きく圧迫した。経済的崩壊の直撃を受けた労働者はロシア帝国政府への抵抗姿勢を強め、次第に労働運動も高まりをみせた。また、戦時動員に抗議する中央アジア諸民族の蜂起も発生し、帝国はその土台から揺らぎ始めた。しかし皇帝ニコライ二世を始めとする指導層は、分解しつつある帝国を維持するだけの指導力をもたなかった。

## ■ ■ ■ 二つの革命 ■ ■ ■

第一次世界大戦中の1917年3月、首都ペトログラードの労働者がゼネストに立ち上がり、反乱を起こした兵士たちがこれに合流した。この動きに一部の政治家が呼応して政権を掌握し、皇帝ニコライ二世が退位してロマノフ朝の帝国支配は幕を閉じた（**三月革命**、ロシア暦二月革命）。新たに組織された臨時政府は、戦争を継続する方針をとったため、民衆の不満は増大した。これに対して亡命地から帰国したレーニンは、戦争中止を訴えて臨時政府と対決した。レーニンに率いられたボリシェヴィキは、兵士や労働者の支持を得て勢力を拡大し、同年11月に臨時政府を打倒した（**十一月革命**、ロシア暦十月革命）。ボリシェヴィキはソヴィエト（評議会）を基礎に社会主義政権を樹立し、地主制の廃止や主要産業の国有化など社会主義的政策を進めた。

## ■ ■ ■ 社会主義国家の確立 ■ ■ ■

旧帝政派の軍人やボリシェヴィキに反対する諸政党は、ソヴィエト政権に対抗して内戦を開始した。一方、社会主義勢力の拡大を目指すボリシェヴィキの動きに対して資本主義諸国の政府は、自国への革命運動の波及阻止とソヴィエト政権の打倒を目指して、干渉戦争を展開した。しかし外国の干渉は民衆の反発を招いたうえ、革命政権も赤軍を組織して反撃に転じたため、1920年には干渉戦争の失敗が明らかになった。外国の支援を受けた反共産党勢力の敗北もこれに続いた。ボリシェヴィキから名称を変更した共産党は、内戦を戦う中で一党支配を強化して、旧ロシア帝国領のかなりの部分を再統合した。こうして1922年末、共産党が統治するロシアと他の三つのソヴィエト共和国が、**ソヴィエト社会主義共和国連邦**（ソ連）を結成した。

### 考えてみよう 調べてみよう

- 第一次世界大戦中のロシア帝国の戦況について調べてみよう。
- 1917年のロシアで、二度にわたって起こった革命は、どのような経過を経たのかを調べてみよう。
- ソヴィエト社会主義共和国連邦の領域を、地図の上で確認しよう。